





RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwei

The Delphion Integrated View

Buy Now: PDF | More choices...

Tools: Add to Work File: Create new Work

View: INPADOC | Jump to: Top

Go to: Derwent

☑ Emai

Title:

JP04130639A2: METHOD AND DEVICE FOR DETECTING CONTACT **NEEDLE OF PROBE CARD WITH WAFER** 

Derwent Title:

Contact detection method between probe card and wafer for IC chip detecting contact condition on basis of operation of external contact detecting circuit connected to chip side electrodes NoAbstract

[Derwent Record]

© Country:

JP Japan

Kind:

Inventor:

**NAKAJO TOSHIO:** 

Assignee:

**FUJI ELECTRIC CO LTD** 

News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed:

**1992-05-01** / 1990-09-20

Application

Number:

JP1990000250959

IPC Code:

H01L 21/66; G01R 31/26;

Priority Number:

1990-09-20 JP1990000250959

Abstract:

PURPOSE: To facilitate detection by connecting an external contact detecting circuit between a pair of contact needles which contact with electrodes drawn from a conducting circuit on the chip side and detecting and judging the contact condition of the contact needle of a probe card with a wafer based on the conditions whether the detecting circuit is operated or not.

CONSTITUTION: A semiconductor wafer 3 is mounted on a chuck table 2 and the table 2 is positioned so as to permit a chip to be directly under the contact needle 5 of a probe card 1. Then, when the table 2 is ascended, the electrode of the chip is brought into contact with the tip of the contact needle 5. Under such condition, a contact detection circuit 9 connected with the card 1 and a circuit on the chip side becomes conductive through the contact needle 5 and a detector 12 is operated so as to inform an operator that the card is brought into contact with the wafer by buzzer or the lighting of a display lamp. The contact position of the card 1 with the wafer 3 detected by the probing of the initial test is stored in the aligning mechanism 4 of the table 2, and the correct contact condition is reproduced when testing other chips.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

§ Family:

None

Other Abstract

DERABS G92-197185 DERG92-197185

Info:

### ⑩日本国特許庁(JP)

# @ 公開特許公報(A) 平4-130639

Mint. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成4年(1992)5月1日

H 01 L 21/66 G 01 R 31/26 H 01 L 21/66 B 70 J 84

7013-4M 8411-2G 7013-4M

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全3頁)

60発明の名称

ブローブカードの触針とウエーハとの接触検出方法および検出装置

②特 願 平2-250959

@出 願 平2(1990)9月20日

@発 明 者

冬 敏

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号 富士電機株式会

社内

勿出 願 人

富士電機株式会社

神奈川県川崎市川崎区田辺新田1番1号

個代 理 人 弁理士 山口 巖

#### 明報書

1. 発明の名称 プローブカードの触針とウェーハとの接触検出方法および検出装置

#### 2.特許請求の範囲

1) 半導体ウェーハ上に形成された各チップの電気に能針を接触させてチップの電気的特性をテストするプローブカードにおいて、チップ側の幕間の路より引出した電極と接触し合う一対の触針を選んで鎮触針間に外部の接触検出回回路を選んでなりにからに対してがあったの接触が出ることを検出、不動作を基にプローブカードの触針とウェーハとの接触検出方法。

2) 請求項 1 に記載の接触検出方法において、ウェーハと触針との間の接触検出を初回のチップテスト時に実行してその接触位置を記憶させ、同じウェーハ上で引続き行う他のチップのテスト時には、前記の記憶を基にプローブカードに対するウェーハの接触位置決めを行うことを特徴とするプロー

ブォードの触針とウェーハとの接触検出方法。

3) 半導体ウェーハ上に形成された各チップごとにその電極に触針を接触させてチップの電気的特性をテストするプローブカードにおいて、チップ側の導通回路より引出した電極と接触し合う一対の触針を選んで複触針の間に電源、および触針間の導通状態で作動する検出器を含む外部の接触検出器を含む外部の接触検出をウェーハとの接触検出装置。

#### 3. 発明の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本発明は、半導体ウェーハ上に形成されたICなどのチップの電気的特性をテストするウェーハプローバ、特にそのプローブカードの触針とウェーハとの接触状態を自動的に検出する接触検出方法、およびその検出装置に関する。

#### (従来の技術)

半導体ウェーハ上に形成されたチップの電気的 特性を個別にテストする手段として、従来よりウェーハプローバが一般に使用されている。

このプローバは、周知のように半導体ウェーハ を保持するチャックテーブルと、ウェーハ上に形 成された各チップの電極と接触し合う触針を備え たプローブカードと、プローブカードに接続した 特性測定用テスタとから構成され、プローブカー ドに対してウェーハの位置、方向を調整した上で、 ウェーハを一定の方向に定ピッチずつインデック ス送りしながら各チップにプローブカードの触針 を自動的に接触させ、テスタにより各チップの質 気的特性をテストするようにしたものである。

ここで、プロービングに際してプローブカード の触針とウェーハとの接触状態を検出する方法と して、従来ではエッジセンサを使用するか、もし くはマイクロスコープを用いて接触状態をオペレ ータが目視確認するようにしている。

#### (発明が解決しようとする課題)

ところで、エッジセンサを使用してウェーハと プローブカードの触針との接触を検出する方式で は、特にマルチプローピングを行う場合には各プ ロープカードごとにエッジセンサを購える必要が

の接触位置を記憶させ、同じウェーハ上で引続き 行う他のチップのテスト時には、前記の配律を基 にプローブカードに対するウェーハの接触位置決 めを行うものとする。

また、前記方法を実施するための接触検出装置 として、本発明は、チップ側の導通回路より引出 した電極と接触し合う一対の触針をプロープヵー ド上で選んで接触針の間に電源、および触針間の 導通状態で作動する検出器を含む外部の接触検出 回路を接続するものとする。

#### (作用)

上記のように接触検出回路を外部接続したプロ ープカードを用いて半導体カェーハをプロービン グすることにより、ウェーハ上に形成されたチッ プに対しその電極にプローブカードの触針が正し く接触すると、チップ側の国路と接触検出回路と の間で触針を介して閉回路が形成され、接回路の 検出器(例えばブザー、表示ランプなど)が作動 して接触状態が検出される。これに対して、ウェ ーハのチップとプローブカードの触針とが正しく

あり、プローバ装置の全体構造が複雑となる。ま た、マイクロスコープを用いる目視検出法はオペ レータに豊富な経験と熟練度が要求される。この ような観点から簡易な接触検出方式の出現が望ま れている。

本発明は上記の点にかんがみなされたものであ り、プローブカードの触針と半導体ウェーハとの 接触状態を簡易な手段で検出できるようにした接 触検出方法、および検出装置を提供することを目 的とする。

#### (課題を解決するための手段)

上記課題を解決するために、本発明の接触検出 方法においては、プロープカードに対し、チップ 側の導通回路より引出した電極と接触し合う一対 の触針を選んで該触針間に外部の接触検出回路を 接続し、プロービングに際して前記接触検出回路 の動作、不動作を基にプローブカードの触針とう ェーハとの接触状態を検出、判定するものとする。 ここで、上記方法によるウェーハと触針との間

の接触検出は初回のチップテスト時に実行してそ

接触してない状態では検出器が作動せず、これに より接触、非接触状態を自動的に輸出、判定でき

また、初回テストのプロービングで検出したプ ローブカードとウェーハとの接触位置をチャック テーブルの位置決め機構に記憶させておくことに より、同じウェーハ上で引続き行う他のチップの テスト時には、その都度接触検出を行うことなく 正しい接触状態を再現してプロービングが行える。

#### (実施例)

第1図は本発明実施例の構成を示すものであり、 図において1はブローブカード、2は半導体ウェ 一八3を保持するチャックテーブル、4はウェー ハ3を指定のテスト位置に移動するチャックテー ブル2の位置決め機構である。

ここで、プローブカード1には中央に穿孔した 関口穴に臨ませてウェーハ側に形成したチップの 電極と接触し合う複数本の触針5を備えており、 各触針ごとに図示されてないテスタと接続し合う 箱子6との間に配線パターン7が施されている。

なお、前記配線パターン 7 の経路上には後記する接触検出回路の端子を差し込む端子挿入穴 8 が穿孔してある。

上記の構成で、半導体ウェーハ3をチャックテーブル2に搭載し、初回にテストするチップがブローブカード1の触針5の真下に来るようにチャックテーブル2を位置決めした後にチャックステージ2を上昇慢作すると、その上昇過程でチップの電極がプローブカード1の触針5の先端に接触

請求項2の接触検出方法においては、ウェーハと触針との間の接触検出を初回のチップテスト等に実行してその接触位置を記憶させ、同じウェーハ上で引続き行う他のチップのテスト時には、前記の記憶を基にプローブカードに対するウェーハの接触位置決めを行うようにしたので、一連のチップテストを能率よく進めることができる。

請求項3の接触検出装置により、簡易な回路で 半導体ウェーハとブローブカードの触針との接触 状態を検出、判定できる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明実施例の構成図である。図にお いて、

1 プローブカード、 2 : チャックテーブル、 3 : 半導体ウェーハ、 5 : 触針、 9 : 接触検出回 路、11:電源、12: 検出器。

代理人并理士 山 口 直

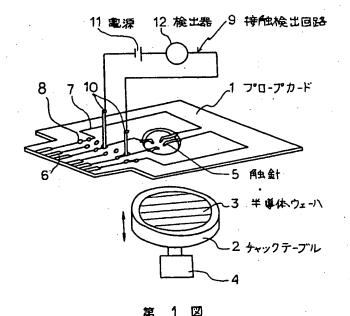
するようになる。この状態になると、プローブカード 1 に接続した接触検出回路 9 とチップ側の回路との間が触針 5 を介して導過状態となり、これにより検出器12が作動して外部に接触状態となったことをブザー音、ないし妻示ランプの点灯で知らせる。

なお、この初回テストのプロービングで検出したプローブカードとウェーハとの接触位置をチャックテーブル2の位置決め機構4に記憶させておくことにより、同じウェーハ上で引続き行う他のチップのテスト時には、その都度接触検出を行うことなく正しい接触状態を再現してプロービングを行うことができる。

#### (発明の効果)

以上述べたように、本発明によれば次記の効果を奏する。

請求項1の接触検出方法により、エッジセンサーマイクロスコープに傾らずに、半導体ウェーハと プローブカードの触針との接触状態を自動的、かつ的確に検出できる。



**21**, , -

DELPHION

No active tr-











Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwei

## The Delphion Integrated View

Buy Now: PDF | More choices...

Tools: Add to Work File: Create new Work

View: INPADOC | Jump to: Top

JP04159043A2: VACUUM CHUCK

V

<sup>♀</sup>Country:

JP Japan

**SUGANO MAKOTO:** 

**OOTAKE IKUMORI:** 

**KANEKO YOSHIO**;

HITACHI LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed:

**1992-06-02** / 1990-10-24

**P**Application

JP1990000284257

Number:

FIPC Code:

**B23Q 3/08**;

Priority Number:

1990-10-24 JP1990000284257

Abstract:

PURPOSE: To improve working efficiency by forming a vacuum chuck in a multilayer and changing a suction surface through the change of the relative angle between upper and lower sucking discs.

CONSTITUTION: A vacuum chuck is formed in a multilayer and a through-hole 3 through which suction of a vacuum pump is guided and grooves 4 are formed at intervals of an equal distance in a radial direction in an sucking lower disc 1. Annular grooves 6 are arranged at intervals in a radial direction in an sucking upper disc 2, and holes 5 for vacuum drawing for sucking a material 8 to be sucked are formed in the groove 9. The radial groove 4 formed in the sucking lower disc 1 and the holes 5 for vacuum drawing on a periphery formed in the sucking upper disc 2 are superposed with each other through the rotational change of the angle of the sucking upper disc 2. Since an annular groove 6 is formed in the upper surface of the superposed 5 for vacuum drawing, suction is made through the through-hole 3 formed in the sucking lower disc 1 with the aid of a vacuum pump to suck a portion in the vicinity of a part matched with the size of a material 8 to be sucked placed on the sucking upper disc 2.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

🕏 Family:

None

& Forward References:

Go to Result Set: Forward references (1)

Buy PDF	Patent	Pub.Date	Inventor	Assignee	Title
28	<u>US5545283</u>	1996-08-13	Collins; David	Xerox	Apparatus for bondin